

児童生徒の主体的な学びを促す
「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の
設定例

生活科・総合的な学習の時間

令和元年9月19日更新
大分県教育庁義務教育課

1時間完結型授業の充実に向けて —各教科等の「例」の見方—

ねらい

- 「目的（身に付けさせたい力など）」と「手立て（その授業の中心となる学習活動）」を明らかにして設定します。
- 評価規準は「ねらい」との整合性をもたせて設定します。
- 指導のねらいは、教師の立場で書くもので児童生徒に提示することは基本的にありません。
※ただし、指導案では「～できる」という形で、児童生徒の「目標」として提示することもあります。

めあて

- 「ねらい」を児童生徒の立場で示したものです。
- 具体的には、付けたい力を身に付けさせるための、めざす「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」を示します。
- 具体的な評価規準が設定できていないと、「めあて」が曖昧なものになります。
- 学習の見通しを持たせ、意欲を高めるものになるように工夫しましょう。

課題

- その時間に解決すべき事柄です。
- 「なぜ、～なのか」「～することはできるだろうか」「どうしたら～できるか」等疑問の形で示します。
- 児童生徒が追究したくなる課題になるよう工夫しましょう。
 - ①既習事項や既有事項とのズレがある
 - ②意見の対立・拮抗が生じる
 - ③目標達成のために越えなければならないハードルがある
 - ④素朴な驚きや疑問、憧れから問題意識が醸成される 等の要素がある課題になるよう工夫しましょう

まとめ

- 本時の課題に対する答え・結論。

振り返り

- 学びの成果を実感させ、学んだことや意欲・問題意識等を次につなげられるよう視点を設けましょう。その際、本時のキーワードや学習用語を用いる等の条件を設定して学びを振り返らせるなどの工夫をしましょう。

「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の4つがどの授業でも必要であるというわけではありません。「めあて」と「課題」の提示の順序が変わることもあります。大切なことは、型にこだわるのではなく、教科の特性や単元の展開、本時のねらい等に応じて適切に設定することです。



新大分スタンダード

新大分スタンダードで
主体的・対話的で深い学びを実現！

「学びに向かう力」と思考力・判断力・表現力を育成するワンランク上の授業

1 1時間完結型

「主体的な学び」を促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」

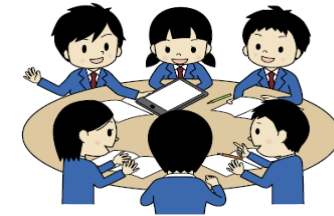
- *学習の見通しをもたせ、意欲を高める「めあて」
- *学びの成果を実感し、学んだことや意欲・問題意識等を次につなげる「振り返り」
- *追究すべき事柄を明確にする「課題」、追究した結果を明確にする「まとめ」

2 板書の構造化

*思考を整理したり促したりする板書、思考の過程を振り返ることができる板書

3 習熟の程度に応じた指導

- *「具体的な評価規準」に基づく確かな見取り
- *「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫



安心して学べる「学びに向かう学習集団」

4 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を創造する学習展開

- *各教科等の見方・考え方を働かせて展開する
「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現・交流→振り返り・評価」等の学習過程の繰り返しの中で行われる
- ・知識の関連付け、問題の発見・解決、情報を精査した考えの形成、思いや考えに基づく創造
- ・様々な人との対話・協働による自分の考えの深化・拡充

H30.3月版

追加

ねらい

【生活科 小学校第1学年 (4)「公共物や公共施設の利用」の指導例】

A公園で見付けたことを話し合うことを通して、B公園との相違や、それぞれの公園のよさや特徴に気付き、公園は楽しいところ、他の公園にも行ってみたいという思いを高めるようにする。

本時のめあて

A公園で見付けたことを、みんなで話そう。

展開

①公園で見付けたことを出し合う。

※前時まで、複数の公園に出かけ、遊んだり見付けたりしている。

※ワークシートや写真を参考に、見付けたことを発表し合う。

※「ゆうぐ」「いきもの」「しせつ」「しょくぶつ」「ひと」などの視点で整理する。

②A公園で見付けたことと、B公園で見付けたことを比べて考える。

※2つの公園の似ているところ、違うところを発表し合う。

※2つの公園を比べることを通して、それぞれの公園の特徴やよさに気付くようにする。

③次の時間の見通しをもつことができるように、本時を振り返る。

振り返り

○A公園とB公園を比べてみたら、同じところとちがうところがあった。

遊ぶ場所や花だんがあるのは同じだったけど、B公園を使う人が多かったよ。他の公園も同じところとちがうところがあるのかな。

○他の公園にはまだ行ってないから、みんなで行っていろいろなものを見付けたい。 など

【 生活科 小学校第1学年 (7)「動植物の飼育・栽培」の指導例 】

ねらい

モルモットとの出会いや飼育の仕方を調べる活動を通して、モルモットに関心や愛着をもち、飼育の準備や世話の仕方を考えることができるようにする。(2/12)

本時のめあて

モルモットが喜ぶお世話の仕方を考えよう

課題

モルモットの好きなおうちや食べ物は図鑑で調べると分かるかな。

展開

- ①前時にモルモットと出会い、大切に育てるための準備や世話の仕方を考える時間であることを確かめる。
- ②モルモットの特徴や飼い方を図鑑や資料で調べ、どんな準備や世話が必要なのかをメモしたり、付箋を貼ったりする。
- ③調べたことを発表し、準備するものや世話の仕方をイメージし、モルモットに適した環境を考える。
- ④話し合ったことを振り返り、ワークシートに気付いたことやこれからの世話の仕方をまとめる。
- ⑤モルモットの名前を考え、大切に育てたいという願いをもって、これからのお世話や観察を続けていくことを確かめる。

振り返り

○明日からの世話の仕方を問いかけ、モルモットが喜ぶ世話の工夫を続けていくことを確かめる。

【生活科 小学校第1学年 (7)「動植物の飼育・栽培」の指導例】

ねらい

あさがおを観察して、成長に気付き、その様子やあさがおへの自分の喜びを絵や文でかいて表現したり、あさがおの変化や成長に合わせて、工夫してお世話をしたりすることができるようにする。

本時のめあて

今日は あさがおさんと、どんなことをしようかな

展開



①あさがおの様子を出し合う。(日常的な取組:朝の会など)

※前回のあさがおタイムと比べての気付きを取り上げ板書する

②めあてを確認し、本時の活動を決める。

※成長の様子を記録したり、あさがおがもっと成長できるようにするための話し合いをしたりする。子どもが自分で活動を決めるようにする

③今日の活動について交流する。

④本時の振り返りをする。

振り返り

○あさがおさんが喜ぶように、観察して成長を記録したり、お世話の仕方を考えたりすることができたことについて確認する。

○個々の気付きを価値付けて共有し、今後の見通しや自信につなげるようにする。

【生活科 小学校第2学年 (3)「地域と生活」の指導例】

ねらい

地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所を示したマップをもとに確かめる活動を通して、会ってみたい人や行ってみたい場所を選択することができるようにする。(3/26)

本時のめあて

町探検の計画書をつくろう

展開

- ①通学路が同じ児童でグループを作り、本時のめあてを確かめる。
- ②通学路の途中で見つけた物や場所・人などをメモしたマップをもとに話し合う。
- ③会ってみたい人や、行ってみたい場所を自由に出し合い、なぜその場所を探検したいのか、理由をたずねながら、友達の考えに気付く。
- ③グループで探検する場所を決め、見てみたいこと、聞きたいこと、調べたいことを、町探検の計画書に書いていく。
- ④相手や場所に応じた行動について考え、気を付けて歩くところや約束を決める。

振り返り

○町探検の計画書をグループで読み合い、活動の計画や探検の約束を確かめる。

【生活科 小学校第2学年 (6)「自然や物を使った遊び」の指導例】

ねらい

おもちゃの動きや遊び方を比べたり試したりする活動を通して、材料を変えたり数を変えたりするとおもちゃの動きが変わることに気づき、自分のおもちゃを工夫してつくろうとするようにする。

本時のめあて

自分のおもちゃを、もっとよく動くようにして、楽しく遊ぼう

展開

①前時の終末に設定しためあてを確認する

※前時に、自分が思い描くおもちゃの動きを求めて改善するとよいところを見だし、自分なりの思いや願いをもっている

②同じ動力で動くおもちゃ同士でグループをつくり、それぞれの思いや願いを確認する。作ったり試したりする。

※自分でじっくり取り組んだり、話し合ったりする場を確保する。

③自分の工夫や試したことについて、全体で交流する。

④次の時間の見通しをもつことができるように、本時を振り返る。

振り返り

○ぼくは、もっと高くとばしたいと思っていました。「Aさんがゴムの数をふやしたらうまくいくよ」と教えてくれたので、ためしてみました。すると、前よりも高くとんだので、とてもうれしかったです。次の時間は、ほかの友だちのさくせんも聞いてみたいです。

総合的な学習の時間

【小学校第3学年「ごまだしの魅力を発信しよう」の指導例】

本時のねらい

集めたごまだしの魅力の中から自分たちの力で発信したいことについて、「ランキング」や「ピラミッドチャート」を活用して話し合う活動を通して、発信したい理由を明確にするともに、発信したい内容を焦点化することができるようにする。

めあて

これまでに調べて分かったごまだしの魅力の中から、自分たちが発信したいことを決めよう。

展開

- ①自分たちが調べたごまだしの魅力を確認する。
- ②ランキングを使い、自分が発信したいごまだしの魅力を選ぶ。
(個人…選んだ理由も書く)
- ③ピラミッドチャートを使ってグループで話し合う。
個人のランキングに書いた理由を伝え合いながら、グループで焦点化する。
- ④全体で交流する。
- ⑤本時の学習を振り返る。

振り返り

○本時で話し合ったり考えたりしたことを振り返って記述する。次の時間に取り組む活動の見通しを書く。

総合的な学習の時間

【小学校第4学年「発見！発信！〇〇（自立支援施設）の指導例】

本時のねらい

〇〇（障がい者自立支援施設、以下施設）の人たちの願いやアドバイスと、自分たちの新聞やチラシ等の内容を比較することを通して、地域の人たちに「伝えたい」内容を焦点化することができるようにする。

めあて

施設のみなさんの願いやアドバイスと、自分たちの作品の内容を比べて、地域の人たちに「より伝えたい内容」を考えよう

展開

- ①7回目の施設訪問を振り返る（新聞やチラシ等で活動をまとめ、施設のみなさんに紹介したこと）
- ②紹介する内容について、施設のスタッフの意見（アドバイス）と、自分たちの作品の内容をベン図で比較する。
- ③施設のことについて「地域の人たちに伝えたい」内容をカードに書き出し、ピラミッドチャートで焦点化する。
- ④本時の学習を振り返る。

振り返り

○グループ毎に用いたピラミッドチャートを見直し、「伝えたい」内容を確認するなどして、次の時間の見通しを記述する。（地域の人たちに配布する方法を考え、再構成する）

総合的な学習の時間

【小学校第4学年「花いっぱいプロジェクト」の指導例】

本時のねらい

自分たちが取り組んでいる「校区花いっぱいプロジェクト」をたくさんの人たちに知ってもらうための今後の活動について、座標軸を用いて視点に沿って比較したり分類したりすることにより、根拠を明らかにした上で選択したり判断したりすることができるようにする。

めあて

花いっぱいプロジェクトをもっと広げていくために、自分たちにできることを考えよう

展 開

- ①これまでの花いっぱい活動を振り返る（種まき、観察日記の継続、ポットに苗を移す、学校公開で花の苗を配布、プランターの土づくり等）
- ②今後の取り組みについて、個人で考える。（カードに書く）
- ③個人で考えたアイデアを、「すぐできる」「時間がかかる」「みんなでする」「ひとりでできる」等の視点に沿って、座標軸に位置付ける。
- ④「みんなでする」「すぐできる」に位置付いたものについて、ランキングでさらに絞り込む。
- ⑤本時の学習を振り返る。

振り返り

○本時で話し合ったり考えたりしたことを振り返って記述する。また、ランキング付けしたグループのアイデアについて、取組を進めていくための具体的な準備について記述する。

総合的な学習の時間

【小学校第6学年「“地域ならではの”でおもてなし」の指導例】

本時のねらい

オリジナル駅弁の食材について、「地域ならではの」「時間がたってもおいしい」という視点に沿って、それぞれの食材のよさ等について根拠や理由を明確にして比較したり多面的に検討したりすることを通して、地域の「めだま」となる駅弁にふさわしい食材を、根拠を明らかにした上で選択することができるようにする。

めあて

地域の「めだま」にふさわしい駅弁になるような食材を決めよう

展開

- ①自分たちの駅弁に欠かせない要素(視点「“地域ならではの”の食材か」「時間がたってもおいしく味わえるか」)を確認し、自分の考えを明確にする。
- ②個人が選んだ食材を理由とともにグループ内で紹介する。
- ③グループごとに、「“地域ならではの”の食材か」「時間がたってもおいしく味わえるか」の視点に基づき、マトリックスを用いて多面的に検討する。
- ④グループで絞り込んだ食材を、ボックスチャートを用いて検討し、学級の食材として焦点化する。

振り返り

○グループごとのマトリックス及び板書(ボックスチャート)をもとに、本時授業で自分が考えたことや、次の時間のめあてや活動の見通しなどを書く。(友達の考えと自分の考えを比較して考えたことや、考えが変容したこと、本時の話し合いを受けて次の時間に取り組みたいこと等)

総合的な学習の時間

【小学校第4学年「植物大変身プロジェクト」の指導例】

本時のねらい

4年3組植物園の「へちまの土」をよりよくすることについて、今の土の状態やへちまが好む栽培環境と調べたことを関連付けたり、「すぐにできる」「自分たちでできる」という視点に沿って話し合ったりすることを通して、必要な活動を順序立てて見通しをもつようにする。

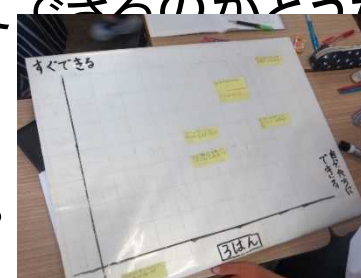
【課題「自分たちが育てた植物を使って、おうちの人にプレゼントをつくろう！」による
13時間目／70時間】

めあて

へちま用の土づくりに必要なことを整理して、次にすることを決めよう

展開

- ①前時の児童の振り返りの中から、本時の活動につながる内容のものを取り上げ、本時のめあてを確認する。
- ②前時に集めた情報を書いた付箋を座標軸を使い整理する。
- ③班で絞り込んだ方法について出し合い、すべてできるのかどうかを考えるようにする。
- ④自分たちですぐにできそうなことがいくつかあることを確認した上で、今後の取組を決める。
- ⑤本時の振り返りをする。



振り返り

- グループごとの座標軸及び板書(スケールチャート)をもとに、本時の学習で自分が考えたことや、次の時間のめあてや活動の見通しなどを書く。
- 畑の土をよりよくする方法がたくさんありすぎて困っていたけど、今日はやることが決まってすっきりした。今日決めたことを、早く実行したい。

追加

総合的な学習の時間

小学校第6学年【地域を元気にしようプロジェクト】の指導例

本時のねらい

自分たちのイベントで活用する地域の特産品について、市役所の方や生産者の話から得た情報を関連付けたり友達との考えを比較したりしながら特徴を見出し、オリジナルメニューづくりという目的に合った特産品を選ぶことができるようにする。
【小単元の課題「どのようなイベントを企画すれば、人で賑わう場所になるか」による
12時間目／70時間】

めあて

オリジナルメニューに使う特産品を決めよう。

展開

- ①自分たちが調べてきた地域の特産品を出し合う。(全体)
- ②「観光客の方々の印象に残るようなオリジナルメニューを考える」という目的を確認しながら、食材を選ぶ視点を確認する。(全体)

・「印象」についての捉えを確認する。

・「おいしいメニューになる」「自分たちがよさをしっかり説明できる」という視点で決めることを確認する。

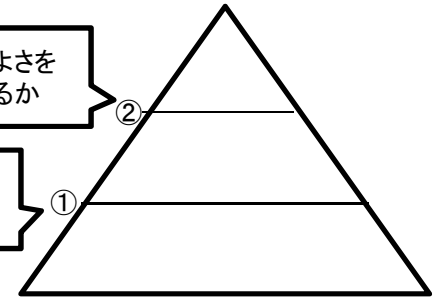
- ③オリジナルメニューに使う特産品を選ぶ。(グループ)

・ピラミッドチャートで関連付けたり焦点化したりして決める。

- ④オリジナルメニューに使う特産品を確認する。(全体)
- ⑤本時の学習を振り返る。(個人)

②自分たちがそのよさを
しっかり説明できるか

①おいしいメニューに
なる特産品であるか



振り返り

○オリジナルメニューに使う特産品を「よさをしっかり説明できるか」「おいしいメニューになるか」という視点で話し合う中で自分が考えたことや、次の時間のめあてや活動の見通しなどを書く。